

英語教科書 Clues & AXEL 全問題解説

このドキュメントは、英語の教科書「Clues」および「AXEL」の設問について、詳細な解説を提供します。

Clues Lesson 1: 名詞(節)を説明するカタマリを見抜く

このレッスンでは、名詞や名詞句を後ろから修飾し、意味を補足する様々な「カタマリ」(主に分詞句や関係詞節)を正確に捉えることを目標とします。これにより、英文の構造をより深く理解する力を養います。

例題

1 a) I want to know whether the plates used in a restaurant affect the taste of the food.

- 注目ポイント: the plates の後ろにある used in a restaurant というカタマリ。
- 解説:
 - used in a restaurant は過去分詞 used が導く句で、「レストランで使われている」という意味です。この句が直前の名詞 the plates(皿)を修飾しています。
 - whether ... は「～かどうか」という意味の名詞節を導き、動詞 know の目的語になっています。
 - したがって、the plates used in a restaurant で「レストランで使われている皿」という意味の大きな名詞句を形成し、これが whether 節の主語の一部となります。
- 設問の解答: レストランで使われている皿が食べ物 [料理]の味に影響を及ぼす
 - この解答は whether 節全体の内容を指しています。

1 b) Eating foods containing vitamin E is a good way to reduce age-related memory loss.

- 注目ポイント: foods の後ろにある containing vitamin E というカタマリ。
- 解説:
 - containing vitamin E は現在分詞 containing が導く句で、「ビタミンEを含んでいる」という意味です。この句が直前の名詞 foods(食品)を修飾しています。
 - 文の主語は Eating foods containing vitamin E という動名詞句全体で、「ビタミンEを含む食品を食べること」となります。
- 設問の解答: ビタミンEを含む食品を食べること
 - この解答は、文の主語である動名詞句全体を指しています。

2 Most people think of anger as an emotion we must keep under control.

- 注目ポイント: an emotion の後ろにある we must keep under control というカタマリ。
- 解説:
 - we must keep under control は関係代名詞節です。an emotion と we の間には、目的格の関係代名詞 that または which が省略されています。この節が直前の名詞 an emotion(感情)を修飾しており、「私たちが抑制下に置かなければならない」という意味になります。
 - think of A as B は「AをBとみなす」という重要な構文です。
- 設問の解答: 私たちが抑えるべき [抑制しなればならない] 感情である
 - この解答は、as 以下で anger を説明している部分を指しています。

実践1 (本冊 p.6)

まず、本文全体の概要を掴みましょう。この文章は「都会版採掘(urban mining)」について述べています。古い携帯電話には貴重な金属が含まれていますが、リサイクル率は低いのが現状です。その理由の一つとして個人情報漏洩の懸念がありましたが、データ消去技術の進歩により、リサイクルの増加が期待されています。都会版採掘が普及すれば、金属価格の低下、入手の容易化、そして環境負荷の低減という利点があると述べられています。

(1) 下線部1) **The problem urban miners are facing is getting enough phones.** を日本語に直しなさい。

- 注目ポイント: The problem の後ろにある urban miners are facing というカタマリ。
- 解説:
 - urban miners are facing は関係代名詞節です。The problem と urban miners の間には、目的格の関係代名詞 that または which が省略されています。この節が The problem を修飾し、「都会版採掘者が直面している問題」という意味になります。
 - is の後ろの getting enough phones は動名詞句で、この文の補語(C)にあたります。「十分な数の電話機を手に入れること」という意味です。
- 解答: 都会版採掘者が直面している問題は、十分な**必要な**数の電話を手に入れることである

(2) 下線部2) **Many people hold on to their old phones because they are worried about the personal data left on them.** の the personal data left on them の部分について、意味を明確にして日本語に直しなさい。

- 注目ポイント: the personal data の後ろにある left on them というカタマリ。
- 解説:
 - left on them は過去分詞 left が導く句で、「それら(古い携帯電話)に残された」という意味です。この句が直前の名詞 the personal data(個人データ)を修飾しています。
 - them は文脈から their old phones を指します。
- 解答: そこに残っている個人データ [情報]

(3) **urban mining** の利点を、日本語で2つ答えなさい。

- 根拠となる箇所: 本文の最終文 If urban mining becomes more common, it will not only make precious metals cheaper and more available but will also be better for the environment.
- 解説:
 - not only A but also B の構文が使われており、「AだけでなくBも」という意味です。
 - Aに該当するのが make precious metals cheaper and more available(貴重な金属をより安く、より入手しやすくする)。
 - Bに該当するのが be better for the environment(環境にとってより良い)。
- 解答:
 1. 貴重な金属がより安く入手しやすくなる
 2. 環境により優しくもなる

実践2 (本冊 p.6)

まず、本文全体の概要を掴みましょう。この文章は「セレンディピティ(幸運な偶然による発見)」について述べています。例として、レイセオン社のパーシー・スペンサーが、レーダー装置のマイクロ波でポケットのチョコバーが溶けたことに気づき、それを食品加熱に応用するアイデアを思いついたエピソードが紹介されています。

(1) 下線部1) **Science is rich in stories of "serendipity," a discovery made by lucky chance.** の a discovery made by lucky chance の部分について、意味を明確にして日本語に直しなさい。

- 注目ポイント: a discovery の後ろにある made by lucky chance というカタマリ。
- 解説:
 - a discovery made by lucky chance は、直前の serendipity と同格の関係にあり、セレ

ンディピティを具体的に説明しています。

- made by lucky chance は過去分詞 made が導く句で、「幸運な偶然によってなされた」という意味です。この句が名詞 a discovery(発見)を修飾しています。

- 解答: 幸運な偶然によってなされた[幸運な偶然による] 発見

(2) 下線部2) **Percy Spencer noticed that microwaves from the radar set he was working on had melted the candy bar in his pocket.** の the radar set he was working on の部分について、意味を明確にして日本語に直しなさい。

- 注目ポイント: the radar set の後ろにある he was working on というカタマリ。
- 解説:
 - he was working on は関係代名詞節です。the radar set と he の間には、目的格の関係代名詞 that または which が省略されています。この節が the radar set(レーダー装置)を修飾し、「彼が取り組んでいた」という意味になります。前置詞 on の目的語が先行詞 the radar set です。
- 解答: 自分が取り組んでいるレーダー (解答例は簡潔ですが、より正確には「彼が取り組んでいたレーダー装置」)

(3) 下線部3) **Spencer's idea** の内容を、日本語で具体的に説明しなさい。

- 根拠となる箇所: 直前の文 He wasn't the first person to notice that microwaves generate heat, but he was the first person to think of using this heat to cook food.
- 解説:
 - スペンサーのアイデアとは、「マイクロ波が発生させる熱(this heat)を食品の調理に利用する(using this heat to cook food)」ということです。
- 解答: (マイクロ波が起こす)熱を利用して食品を加熱調理すること

Clues Lesson 2: 基本構造を見ぬく

このレッスンでは、文の基本的な構造(SV, SVC, SVO, SVOO, SVOC)を正確に把握すること、特に目的語や補語が句や節になって長くなる場合に注意を払うことを学びます。また、前置詞の後に続く名詞(句・節)のカタマリを意識することも重要です。

例題

1 Music may help children and adults overcome their emotional problems.

- 注目ポイント: help children and adults overcome ... の構造。
- 解説:
 - この文は S + V + O + C(原形不定詞) の第5文型(SVOC)です。
 - S(主語): Music
 - V(動詞): may help
 - O(目的語): children and adults
 - C(補語): overcome their emotional problems (原形不定詞句)
 - help + O + (to) V(原形) で「OがVするのを助ける、OがVするのに役立つ」という意味になります。この文では to が省略されています。
- 設問の解答: 子どもや大人が自らの感情的[→心の]問題を乗り越えるのに役立つ
 - この解答は、help 以下が示す内容全体を指しています。

2 a) The custom of drinking coffee arrived in America in 1689.

- 注目ポイント: 前置詞 of の後の drinking coffee というカタマリ。
- 解説:
 - S(主語): The custom of drinking coffee

- V (動詞): arrived
- of drinking coffee は動名詞句で、直前の名詞 The custom (習慣) を修飾し、「コーヒーを飲むという習慣」という意味になります。前置詞 of の目的語が動名詞句 drinking coffee です。
- 設問の解答: コーヒーを飲む(という)習慣
 - この解答は、文の主語全体を指しています。

2 b) Facial expressions give us clues about what a person may actually be trying to convey.

- 注目ポイント: 前置詞 about の後の what a person may actually be trying to convey というカタマリ。
- 解説:
 - この文は S + V + IO + DO の第4文型 (SVOO) です。
 - S (主語): Facial expressions
 - V (動詞): give
 - IO (間接目的語): us
 - DO (直接目的語): clues about what a person may actually be trying to convey
 - about what a person may actually be trying to convey は前置詞 about の目的語となる名詞節です。what は関係代名詞(〜こと)または疑問詞(何)と解釈できます。ここでは「人が実際に伝えようとしていること」という意味になります。
- 設問の解答: 人が本当は何を伝えようとしているのか [人が本当に伝えようとしていること] について
 - この解答は、前置詞 about に続く名詞節の内容を指しています。

実践1 (本冊 p.7)

まず、本文全体の概要を掴みましょう。この文章は、髪型が歴史的に優位性や服従を示す象徴として用いられてきた例を挙げています。原始人は威嚇のために髪に装飾を施し、ローマ人は被征服民に髪を切らせて服従を示させ、17世紀中国の満州人は特有の髪型を被征服民にも強要したと述べられています。

(1) 下線部1)を示すために、原始人は髪に何をつけたか、本文中からすべて抜き出さない。

- 根拠となる箇所: Primitive men put bones, feathers, and other objects in their hair to impress and intimidate their enemies.
- 解説:
 - put A in their hair で「Aを髪につけた」という意味です。Aに該当するものが列挙されています。
- 解答: bones, feathers, and other objects

(2) 下線部2) Later, the Romans made the people they conquered cut off their hair to show submission. を日本語に直さない。

- 注目ポイント: made the people they conquered cut off ... の構造。
- 解説:
 - make + O + V (原形) の使役構文で、「OにVさせる」という意味です。
 - O (目的語): the people they conquered
 - they conquered は関係代名詞節(目的格の関係代名詞 whom or that が省略)で、the people を修飾し、「彼らが征服した人々」という意味です。
 - V (原形): cut off their hair
 - to show submission は「服従を示すために」という目的を表す副詞的用法の不定詞です。
- 解答: のちに、ローマ人は自らが征服した人々に、服従を示すために髪を切らせた。

(3) 下線部3)の **this style** がさすものを、次のa)~c)から1つ選びなさい。a)服装 b) 髪型 c)生活様式

- 根拠となる箇所: 直前の文 In seventeenth-century China, Manchu men shaved the front of the hair and combed the hair in the back into a braided tail. および They also made those they conquered wear this style.
- 解説:
 - this style は、満州人の男性が行っていた特有の髪型、すなわち「前頭部分の髪をそり、後頭部分の髪をくしでといて編みこんで長く垂らした」髪型を指しています。
- 解答: b) 髪型

実践2 (本冊 p.7)

まず、本文全体の概要を掴みましょう。この文章は、光害が動物の行動に与える影響について述べています。特にウミガメを例に挙げ、海岸が明るいと産卵を避けたり、孵化した子ガメが陸の光に向かってしまい海にたどり着けなくなる問題点を指摘しています。

(1)下線部1), 2)を日本語に直しなさい。

- 下線部1) **Sea turtles provide a dramatic example of how artificial light can disturb the behavior of animals.**
 - 注目ポイント: 前置詞 of の後の how artificial light can disturb the behavior of animals というカタマリ。
 - 解説:
 - how ... は間接疑問文(名詞節)で、「どのように〜か」または「いかに〜か」という意味です。ここでは前置詞 of の目的語になっています。
 - provide A of B で「BのA(例)を提供する」という意味合いです。
 - 解答1): ウミガメは、いかに人工の光が動物の行動を乱しうるか(について)の印象的な例を示す。
- 下線部2) **baby turtles normally find their way to the sea by moving away from the dark outline of the land.**
 - 注目ポイント: by moving away from ... という手段を表すカタマリ。
 - 解説:
 - find their way to ... で「〜への道を見つける、〜にたどり着く」という意味です。
 - by -ing で「〜することによって」という手段を表します。
 - moving away from the dark outline of the land で「陸地の暗い輪郭から離れることによって」という意味です。
 - 解答2): ウミガメの赤ちゃんは普通、陸地の暗い輪郭から離れることによって、海のほうへ進む [海にたどり着く]。

(2) 光がウミガメの産卵に与える影響を、日本語で説明しなさい。

- 根拠となる箇所: When these beaches are brightly lit at night, the turtles may avoid laying their eggs there.
- 解説:
 - 夜間に海岸が明るく照らされていると (When these beaches are brightly lit at night)、ウミガメはそこで産卵するのを避けることがある (the turtles may avoid laying their eggs there) と述べられています。
- 解答: 明るい海岸では、ウミガメは産卵するのを避けることがある。

Clues Lesson 3: 挿入を見ぬく

このレッスンでは、文の途中にコンマやダッシュで区切られて挿入される語句や節を見抜き、それらが文全体の構造の中でどのような役割を果たしているかを理解することを目指します。挿入は、補足説明、話し手の意見、強調などの目的で行われます。

例題

1 Psychological research suggests that, in the long run, experiences make people happier than possessions.

- 注目ポイント: that, と experiences の間にある , in the long run, という挿入句。
- 解説:
 - that は接続詞で、suggests の目的語となる名詞節を導きます。
 - , in the long run, は「長い目で見れば」という意味の副詞句で、that 節内の動詞 make を修飾しています。このように、接続詞 that の直後に副詞句や副詞節が挿入されることがあります。
 - 挿入句を除いて考えると、that experiences make people happier than possessions という構造が見えます。
- 設問の解答: 長い目でみると、経験したことは(財産などの)所有物よりも人を(より)幸せにする
 - この解答は、that 節全体の内容を指しています。

2 The secret of success, I think, is not to fear failure.

- 注目ポイント: The secret of success, と is の間にある , I think, という挿入節。
- 解説:
 - , I think, は「私が思うに」という意味の節で、話し手の考えや判断を挿入しています。
 - この挿入節は、文の主語 The secret of success と述語動詞 is の間に置かれています。
 - 挿入節を除くと、The secret of success is not to fear failure. (成功の秘訣は失敗を恐れないことだ)という基本的な文構造が見えます。
 - I think (that) the secret of success is not to fear failure. と書き換えることもできます。
- 設問の解答: 成功の秘訣は、私が思うに、失敗を恐れないことだ。

実践1 (本冊 p.9)

まず、本文全体の概要を掴みましょう。この文章は、シロイルカが人間の出す音を真似ていた可能性について述べています。科学者たちは、録音・分析した音が、人間に長期間接していたシロイルカが人間の会話を模倣したものであり、それは口や鼻の圧力を変えることで行われたと考えています。この行動は約4年後に見られなくなるとされています。

(1) 下線部1) **They think that because the whale had lived close to people for a long time, it could copy the sounds of the human conversation it had been hearing.** を日本語に直しなさい。

- 注目ポイント: 接続詞 that の直後にある because the whale had lived close to people for a long time, という挿入された副詞節。
- 解説:
 - They think that ... で、that 以下が think の目的語となる名詞節です。
 - because ... for a long time, は理由を表す副詞節で、「そのシロイルカは長い間人間の近くで暮らしていたので」という意味です。この副詞節が、that 節の主節 it could copy ... を修飾しています。
 - it had been hearing は関係代名詞節(目的格の関係代名詞 that or which が省略)で、the human conversation を修飾し、「それが聞いていた人間の会話の音」という意味です。

- 解答: そのシロイルカは長い間人間の近くで暮らして[生きて]いたので、聞こえていた人間の会話の音をまねることができた、と彼ら(=科学者)は思っている。

(2) 下線部2)の**this behavior** の内容を、20字以内の日本語で答えなさい。

- 根拠となる箇所: 直前の文脈、特に actually trying to copy the sounds that people make や it could copy the sounds of the human conversation。
- 解説:
 - this behavior は、シロイルカが行っていた「人間の出す音を真似る行動」を指しています。
- 解答例: 人間の出す音をまねようとする行動。(17字) / 人間の会話の音を模倣する行為。(15字)など

実践2 (本冊 p.9)

まず、本文全体の概要を掴みましょう。この文章は、バイリンガリズム(2言語使用)の利点について述べています。グローバル化社会での実用的な利点だけでなく、より根本的な知能向上効果や、脳への好影響(言語以外の知的能力向上、高齢期の認知症予防)があることが科学的に示され始めっていると説明しています。

(1) 下線部1) **the advantages of bilingualism are even more fundamental than being able to converse with a wider range of people.** の内容を、日本語で具体的に説明しなさい。

- 注目ポイント: 比較級 more fundamental than ... の構造。
- 解説:
 - 「バイリンガリズムの利点」(the advantages of bilingualism) は、「より幅広い範囲の人々と会話できること」(being able to converse with a wider range of people) よりも、「さらに根本的である」(are even more fundamental) と述べています。
 - つまり、単にコミュニケーションの幅が広がるという以上に、もっと基本的なレベルでのメリットがあるということです。
- 解答: より幅広い [さまざまな]人と会話をすることができること。(これは比較対象の方を指しており、問題の意図としては「バイリンガリズムの利点が、単に多くの人と話せること以上に根本的であること」を説明するのがより適切ですが、解答例は比較対象を抜き出しています。)
 - より設問の意図に沿った解答としては、「バイリンガリズムの利点は、より多くの人々と会話できるという実用的な側面よりも、さらに根本的なものであるということ。」などが考えられます。

(2) 下線部2) **Being bilingual, it turns out, makes you smarter.** を日本語に直しなさい。

- 注目ポイント: Being bilingual, と makes の間にある , it turns out, という挿入節。
- 解説:
 - , it turns out, は「判明したことが」「結局のところ」といった意味の挿入節で、文全体に情報を付け加えています。
 - 挿入節を除くと、Being bilingual makes you smarter. (バイリンガルであることはあなたをより賢くする)という文構造が見えます。
 - Being bilingual は動名詞句で、文の主語です。
- 解答: 2か国語を話すことで、より賢くなるということが(今では)わかっている。

(3) 下線部3) **It can have a profound effect on your brain; it can improve mental skills not related to language and even prevent dementia in old age.** の内容を、日本語で具体的に説明しなさい。

- 注目ポイント: It が指すもの、およびセミコロン(;) 以下の具体的な説明。
- 解説:
 - 最初の It は直前の Being bilingual (2か国語を話すこと)を指しています。
 - セミコロンは、前の文の内容を具体的に説明したり、補足したりする役割があります。

- 「脳に多大な影響を及ぼしうる」(can have a profound effect on your brain) の具体的な内容として、「言語とは関係のない知的領域にかかわる技能を高め」(improve mental skills not related to language)、「高齢期の認知症を予防さえしうる」(even prevent dementia in old age) と説明されています。
- not related to language は過去分詞句で、mental skills を修飾しています。
- 解答: 2か国語を話すと、言語とは関係のない知的領域にかかわる技能を高め、高齢期の〔一年を取ってからの〕認知症を予防さえしうる。

AXEL Lesson 01: 時制/完了①

このレッスンでは、基本的な時制(現在形、過去形、未来形、現在進行形など)と完了形(現在完了形)の正しい使い方を理解し、文脈に応じて適切に使い分ける能力を養います。

A Reading 読解

まず、本文全体の概要を掴みましょう。この文章は、ある会社の社長が始めたトイレ掃除が、社員や地域社会に良い影響を与えた話です。社長が会社のトイレを掃除し始めると、次第に社員も手伝うようになり、職場環境が改善されました。さらに、公共の場所のトイレ掃除も始め、ボランティア活動として広がりました。ある中学校では、トイレ掃除を通じて学校が綺麗になり、生徒同士の関係も良好になった事例が紹介されています。トイレ掃除が人々の気持ちを前向きにさせることが示唆されています。

1 本文の内容と一致するものには○、一致しないものには×を書きなさい。

- a. Some workers of the company didn't do their best in their work.
 - 根拠: 第2段落 He wanted all the workers to do their best in their work. However, some of them looked tired and their manners were bad. (社長は全社員に全力を尽くしてほしかった。しかし、社員の中には疲れた様子で態度の悪い者もいた。)
 - 解説: 一部の社員が全力を尽くしていなかった、あるいはそう見えた状況が示唆されています。
 - 解答: ○
- b. All the workers helped the president as soon as he began cleaning the toilets of the company.
 - 根拠: 第3段落 After a few months, some workers started to come much earlier to help him. Soon more workers joined them. Finally all the workers worked together. (数ヶ月後、何人かの社員が手伝うために早く出社し始めた。まもなくさらに多くの社員が加わった。最終的に全社員が一緒に働くようになった。)
 - 解説: 社長が掃除を始めてすぐに全社員が手伝ったわけではなく、数ヶ月かけて徐々に協力者が増えていきました。
 - 解答: ×
- c. A woman says that she polishes her mind as well as toilets.
 - 根拠: 第6段落 A woman said, "I'm polishing both toilets and my mind at the same time." (ある女性は言った。「私はトイレと自分の心を同時に磨いています」と。)
 - 解説: as well as は「～と同様に」という意味で、both A and B (AとBの両方) とほぼ同じ内容を示しています。
 - 解答: ○

2 下線部①の内容を日本語で説明しなさい。(this activity)

- 根拠: 第1段落 A volunteer group cleans the toilets in public places like parks. How did this activity begin? および第4段落 The man also began cleaning the toilets in public places.

Gradually a lot of people started to do this volunteer activity.

- 解説: this activity は、文脈から「公園のような公共の場所のトイレを掃除するボランティア活動」を指しています。
- 解答: 公共の場所のトイレをそうじするボランティア活動

3 下線部②を、**He**と**them** の指すものを明らかにして和訳しなさい。(He decided to clean them.)

- 根拠: 第2段落 One day he noticed the toilets in his company were dirty. He decided to clean them.
- 解説:
 - He は直前の文脈から「ある会社の社長 (A president of a company)」を指します。
 - them は直前の the toilets in his company (彼の会社のトイレ) を指します。
- 解答: 社長は、自分の会社のトイレをそうじすることに決めた。

4 下線部③の内容を次のように言いかえるとき ()内の語句を正しく並べかえて書きなさい。

(Cleaning toilets is important for making this school a happy place.) You should clean toilets (make, a, want, this school, you, happy place, if, to).

- 解説:
 - 下線部③は「トイレ掃除はこの学校を楽しい場所にするために重要です」という意味です。
 - 言い換え文は「もしこの学校を楽しい場所にしたいのなら、あなたはトイレを掃除すべきです」という意味になるように組み立てます。
 - if 節「もし～なら」を使い、その中に want to make this school a happy place「この学校を楽しい場所にしたい」を入れます。
- 解答: You should clean toilets if you want to make this school a happy place.

5 下線部④の**It** が示すものを本文中から抜き出して2語で答えなさい。(It makes people feel positive.)

- 根拠: 直前の文 Why can people change just by cleaning toilets? および文脈全体。
- 解説: It は「トイレを掃除すること (cleaning toilets)」を指しています。
- 解答: cleaning toilets

6 下線部⑤を和訳しなさい。(I'm sure something inside of you will have changed in a month.)

- 解説:
 - I'm sure (that) ... で「きっと～だと確信している」という意味です。that は省略されています。
 - something inside of you は「あなたの中の何か」という意味です。
 - will have changed は未来完了形で、「(未来のある時点までには)変わってしまったであろう」という意味を表します。
 - in a month は「1ヶ月後には」という意味です。
- 解答: 1か月後には、あなたの中の何かが変わっていると私は確信している。

B Grammar 文法

(1) 誰かがドアをたたき続けている。Somebody [knocks / is knocking] on the door.

- 解説: 「たたき続けている」という継続中の動作を表すため、現在進行形 is knocking を使います。
- 解答: is knocking

(2) これらの花はとてもよいにおいがする。These flowers [smell / are smelling] very good.

- 解説: smell (においがする) のような状態を表す動詞は、通常進行形にしません。
- 解答: smell

(3) そのイルカは死にかけている。The dolphin [is dead / is dying].

- 解説: is dead は「死んでいる」という状態を表します。「死にかけている」という進行中の状態を表すのは is dying です。
- 解答: is dying

(4) もし困ったことがあれば、すぐ私に電話しなさい。 **Call me immediately if you [are / will be] in trouble.**

- 解説: 時や条件を表す副詞節 (if節など) の中では、未来のことでも現在形を用います。
- 解答: are

(5) 彼は今度の金曜日パーティーに来るだろうか。 **I wonder if he [comes / will come] to the party this Friday.**

- 解説: if が導く名詞節 (～かどうか) の中では、未来のことは未来形 will come を使います。(4) の副詞節の場合と区別が必要です。
- 解答: will come

C-1 和訳

(1) **I don't know when my brother will return.**

- 解説: when my brother will return は間接疑問文 (名詞節) で、「いつ私の兄[弟]が戻ってくるか」という意味です。know の目的語になっています。
- 解答: 私はいつ兄 [弟] が戻ってくるか知らない。

(2) **We'll begin the party as soon as your parents arrive.**

- 解説: as soon as ... は「～するとすぐに」という意味の時を表す接続詞です。この接続詞が導く副詞節の中では、未来のことでも現在形 arrive を用います。
- 解答: あなたのご両親が到着したらすぐに、私たちはパーティーを始めましょう。

(3) **I will be playing the piano on stage at this time tomorrow.**

- 解説: will be -ing は未来進行形で、「(未来のある時点で)～しているだろう」という進行中の動作を表します。at this time tomorrow (明日の今ごろ) という具体的な未来の時点が示されています。
- 解答: 明日の今ごろ、私は舞台の上でピアノを弾いているでしょう。

C-2 英訳 (解答例)

(1) ヘンリー (Henry) はちょうど宿題をやり終えたところです。

- 解説: 「ちょうど～し終えたところだ」は現在完了形の完了・結果用法で表します。just を用います。
- 解答例: Henry has just finished [done] his homework.

(2) 私は2度、ロンドンを訪れたことがある。

- 解説: 「～したことがある」は現在完了形の経験用法で表します。「2度」は twice です。
- 解答例: I have visited London twice.

AXEL Lesson 02: 時制/完了②

このレッスンでは、完了形 (現在完了形、過去完了形、未来完了形) と完了進行形 (現在完了進行形など) の用法をさらに深掘りし、継続、経験、完了・結果といった意味合いを正確に表現する方法を学びます。

A Reading 読解

まず、本文全体の概要を掴みましょう。オーストラリアのバンダヌーンという町では、環境保護のために2009年からペットボトル入りの水の販売を中止しています。これは住民自らの決定によるものです。ペットボトルが環境に悪い理由として、製造に石油を使うこと、輸送にエネルギーを要し二酸化炭素を排出すること、使用後にごみになることが挙げられています。バンダヌーンの人々は繰り返し使えるボトルを選び、給水所で無料で水を得ています。

1 本文の内容と一致するものには○、一致しないものには×を書きなさい。

- **a. About two thousand people live in Bundanoon, Australia.**
 - 根拠: 第1段落 It has a population of about 2,000 people. (人口は約2,000人だ。)
 - 解答: ○
- **b. People in Bundanoon learned about how to make plastic bottles.**
 - 根拠: 第1段落 They learned about how plastic bottles affect the environment. (彼らは、ペットボトルがいかに環境に影響を与えるか学んだ。)
 - 解説: ペットボトルの作り方ではなく、環境への影響について学んだとあります。
 - 解答: ×
- **c. People in Bundanoon have been told to stop selling water in plastic bottles since 2009.**
 - 根拠: 第1段落 No one required them to do that. ... As a result, they made a decision by themselves not to use bottled water any more. (誰かが彼らにそうするよう命じたのではない。...その結果、自分たちで、もうペットボトル入りの水を利用しないことを決断したのだ。)
 - 解説: 他者から命じられたのではなく、自主的な決定です。
 - 解答: ×
- **d. Now people in Bundanoon get water for nothing at water stations by carrying their own bottles.**
 - 根拠: 第3段落 In many areas of the town, they can fill their bottles with free water at a water station. (町の多くの地域では、給水所で自分たちのボトルを無料の水で満たすことができる。)
 - 解説: for nothing は「無料で」という意味です。
 - 解答: ○

2 下線部①が指す内容を日本語で答えなさい。(they are doing something to protect the environment: they have stopped selling water in plastic bottles since 2009.)

- 解説: コロン(:) 以下が something to protect the environment の具体的な内容を示しています。
- 解答: バンダヌーンの人々が、2009年から、ペットボトルで飲料水売ることをやめていること。

3 下線部②の意味にもっとも近いものを選び、記号で答えなさい。(affect) a. love b. influence c. save d. describe

- 解説: affect は「～に影響を与える」という意味です。選択肢の中で最も意味が近いのは influence です。
- 解答: b

4 次の表は下線部③についてまとめたものです。()に適切な日本語を書き入れなさい。(Several reasons)

- 理由1: ペットボトルを作るために、限りある天然資源のa. (石油)が使われる。
 - 根拠: 第2段落 First, oil is used to make plastic bottles. Oil is a limited natural resource.
- 理由2: ペットボトル飲料水の輸送にはたくさんのエネルギーが必要で、輸送中には地球温暖化の原因の1つと言われるb. (二酸化炭素)が排出される。
 - 根拠: 第2段落 Second, a lot of energy is needed to carry all those drinks in plastic

bottles from country to country. Also, carbon dioxide is released into the air during transport. Carbon dioxide is said to be one of the causes of global warming.

- 理由3: ペットボトルは何度も使用することができないので、飲んだあとはc. (ごみ)になる。リサイクルするにも多くのエネルギーが使われる。
 - 根拠: 第2段落 Third, after you have finished drinking your water, the plastic bottle becomes garbage. You can't use the same plastic bottle again and again. Of course you can recycle it. But a lot of energy is used to melt the plastic and make new bottles.
- 解答: a. 石油 b. 二酸化炭素 c. ごみ

5 現在、バンダヌーンの人々が選んだボトルはどのようなものですか。日本語で説明しなさい。

- 根拠: 第3段落 The people of Bundanoon now choose bottles which they can use again and again.
- 解説: which they can use again and again が bottles を修飾しています。
- 解答: 何度もくり返して使うことのできるボトル

6 下線部④を、**They, this** の内容が明確になるようにして和訳しなさい。(They have been doing this since 2009.)

- 根拠: 第3段落全体。
- 解説:
 - They は The people of Bundanoon (バンダヌーンの人々) を指します。
 - this は直前の文脈で述べられている行動、つまり「自分たちのボトルを持ち歩き、町の多くの給水所で無料の水でボトルを満たすこと」を指します。
 - have been doing は現在完了進行形で、2009年から現在までその行動が継続していることを示します。
- 解答: バンダヌーンの人々は、自分のボトルを持ち歩き、町にある給水所で自分たちのボトルを無料の水で満たすことを2009年から続けている。

B Grammar 文法

(1) メアリーは今朝からずっとあの本を読んでいる。Mary (read) that book since this morning.

- 解説: 「今朝からずっと読んでいる」という継続を表すため、現在完了進行形 has been reading を使います。
- 解答: has been reading

(2) 彼らが結婚したとき、知り合ってから10年になっていた。They (know) each other for ten years when they got married.

- 解説: 「彼らが結婚したとき」(過去のある時点)までに、「知り合ってから10年間」という状態が継続していたことを表すため、過去完了形 had known を使います。know は状態動詞なので通常進行形にしません。
- 解答: had known

(3) トムは昨夜そのレポートを書き終えた。Tom (finish) writing the report last night.

- 解説: last night (昨夜) という明確な過去の時点を表す語句があるので、過去形 finished を使います。
- 解答: finished

(4) 兄は6年間ずっと地元のサッカークラブに所属している。My brother (belong) to the local soccer club for six years.

- 解説: 「6年間ずっと所属している」という現在の状態の継続を表すため、現在完了形 has belonged を使います。belong は状態動詞なので通常進行形にしません。
- 解答: has belonged

(5) 私は来月富士山に登ると、3回登ったことになる。If I climb Mt. Fuji next month, I (climb) it

three times.

- 解説:「来月富士山に登ると」(未来のある時点までには)、「3回登ったことになる」という完了を表すため、未来完了形 *will have climbed* を使います。
- 解答: *will have climbed*

C-1 並べかえ

(1) 私が家に着くまでには、夕食の用意ができていだろう。Dinner (been / by / get / have / I / prepared / the time / will / will) home. 不要な語: *will* (1つ)

- 解説:「私が家に着くまでには」(未来のある時点)までに「夕食の用意ができていだろう」という完了を表すので、未来完了形の受動態 *will have been prepared* を使います。「～する時までには」は *by the time ...* で表します。
- 解答: Dinner **will have been prepared by the time I get** home.

(2) もしもう1度見れば、私はその映画を4回見たことになる。(four times / watch / have watched / I / I / if / the movie / will) watch it again. 不要な語: *watch*

- 解説:「もしもう1度見れば」(未来の条件)、「その映画を4回見たことになる」という未来の完了を表すので、未来完了形 *will have watched* を使います。
- 解答: **I will have watched the movie four times if I watch** it again.

(3) 私たちの電車が横浜に着くまで、私たちは1時間ずっと立っていた。(an hour / been / for / had / we / stood / standing) until our train arrived in Yokohama. 不要な語: *stood*

- 解説:「私たちの電車が横浜に着くまで」(過去のある時点)、「私たちは1時間ずっと立っていた」という過去のある時点までの継続動作を表すので、過去完了進行形 *had been standing* を使います。
- 解答: **We had been standing for an hour** until our train arrived in Yokohama.

C-2 英訳 (解答例)

(1) あなたは今までに富士山に登ったことがありますか。

- 解説:「今までに～したことがありますか」は現在完了形の経験用法で尋ねます。Have you ever + 過去分詞 ...? の形を使います。
- 解答例: Have you ever climbed Mt. Fuji?

(2) 私たちは1992年からこの家に住んでいます。

- 解説:「1992年から(今まで)住んでいます」という継続を表すため、現在完了形 *have lived* または現在完了進行形 *have been living* を使います。since 1992 で起点を表します。
- 解答例: We have lived in this house since 1992.

AXEL Lesson 03: 助動詞

このレッスンでは、*can*, *may*, *must*, *should* などの基本的な助動詞に加え、*used to*, *ought to*, *had better* や、助動詞 + *have* + 過去分詞の形(過去の事柄に対する推量や後悔など)といった、より複雑な助動詞の用法を学びます。

A Reading 読解

まず、本文全体の概要を掴みましょう。日本では学校が4月に始まるのは一般的ですが、国際的には9月開始が多数派です。次いで1月、10月が多く、11月や12月開始の国はありません。4月開始は少数派で、このことが日本人学生の海外留学や外国人学生の日本留学の障壁になっていると指摘

されています。対策として、一部の大学では9月入学も導入され、政府も9月開始を検討中ですが、「桜と新学期」という文化を理由に反対意見もあることが述べられています。

1 本文及びグラフの内容と一致するものには○、一致しないものには×を書きなさい。

- **a. All the countries in Sub-Saharan Africa start their school year in September.**
 - 根拠: 第2段落 The third most common starting month following January is October. Most of the countries in this group are in Sub-Saharan Africa. (1月に続いて3番目に一般的な開始月は10月である。このグループのほとんどの国々は、サハラ以南のアフリカに位置する。)
 - 解説: サハラ以南のアフリカの多くの国は10月開始であり、すべてが9月開始ではありません。
 - 解答: ×
- **b. Japan is one of the two countries in the world that start their school year in April.**
 - 根拠: 第3段落 Only two percent of countries start their school year in April. Peru, India, Pakistan and Japan make up this group. (4月に学年を始める国はわずか2パーセントである。ペルーやインド、パキスタンや日本がこのグループを構成している。)
 - 解説: 4月開始の国は2%あり、日本はそのグループの1つですが、世界で2カ国だけではありません。
 - 解答: ×
- **c. Changing the starting month of Japan's school year to September may help students who want to study abroad.**
 - 根拠: 第3段落 It is said that because of this, it is not easy for Japanese students to study abroad. ... In order to make it easier, some universities in Japan have already started admitting students in September ... (このことが理由となつて、日本人学生が海外留学することが容易ではないと言われている。...それをもっと容易にするために、日本のいくつかの大学ではすでに、...9月にも学生の入学を認め始めている。)
 - 解説: 4月開始が留学の障壁になっているため、9月開始に変更すれば留学しやすくなる可能性があります。
 - 解答: ○

2 グラフの(A) (B) (C)が示す月の組み合わせとして正しいものを選び、記号で答えなさい。

- 根拠:
 - 本文第2段落: In more than half of the countries, school starts in September. (半分以上の国々で、学校は9月に始まる。) → (A) 53% は September.
 - 本文第2段落: The second most common starting month is January. (2番目に一般的な学年開始月は1月だ。) → (B) 16% は January.
 - 本文第2段落: The third most common starting month following January is October. (1月に続いて3番目に一般的な開始月は10月である。) → (C) 10% は October.
- 解答: c

3 下線部①の指す内容を日本語で答えなさい。(this)

- 根拠: 直前の文 Only two percent of countries start their school year in April. Peru, India, Pakistan and Japan make up this group.
- 解説: this は、日本を含む少数の国々が学年を4月に始めるという事実を指しています。
- 解答: 学年 [学校] が4月に始まること。

4 下線部②を和訳しなさい。(The third most common starting month following January is October.)

- 解説:
 - The third most common starting month は「3番目に一般的な開始月」。
 - following January は現在分詞句で、直前の starting month を修飾し、「1月に続く」という意味です。

- 解答: 1月に続いて3番目に一般的な開始月は10月である。

5 下線部③について、it の指す内容を具体的に示して和訳を完成させなさい。(In order to make it easier, some universities in Japan have already started admitting students in September in addition to April.)「日本のいくつかの大学ではすでに、4月に加えて9月にも学生の入学を認め始めている。」の前に、In order to make it easier の it が指す内容を補って訳します。

- 根拠: 直前の文脈 It is said that because of this, it is not easy for Japanese students to study abroad. Also, it is not convenient for students from other countries to come and study in Japan.
- 解説: it は「日本人学生が海外留学すること」および「他国の学生が日本に留学すること」の両方を容易にすることを指しています。
- 解答: 他の国の学生たちが日本に留学することをもっと容易にするために、(日本のいくつかの大学ではすでに、4月に加えて9月にも学生の入学を認め始めている。)
 - (解答例は後者のみに焦点を当てていますが、前者の「日本人学生が海外留学しやすくする」も含むとより正確です。)

6 下線部④を主張する理由として本文に述べられていることを説明しなさい。(Some people, however, are against this idea. They say that starting a new school year with cherry blossoms is part of Japanese culture and that the starting month shouldn't be changed.)

- 根拠: They say that starting a new school year with cherry blossoms is part of Japanese culture and that the starting month shouldn't be changed.
- 解説: 反対する人々は、「桜の花のもとで新学年を始めるのが日本文化の一部であり、開始月は変更するべきではない」と主張しています。
- 解答: 桜が咲いている中で新年度を迎えるのは日本文化の一部なので、開始月は変更されるべきでないと考えるから。

B Grammar 文法

(1) You (should have) come to the party last night. It was a lot of fun.

- 解説: should have + 過去分詞 で「～すべきだったのに(しなかった)」という過去の行為に対する後悔や非難を表します。「昨夜パーティーに来るべきだったのに(来なかったね)」という意味です。
- 解答: should have

(2) The town is quite different from what it (used to) be.

- 解説: used to + 動詞の原形 で「以前はよく～したものだ」「以前は～だった」という過去の習慣や状態を表します。「その町は以前の姿とはかなり異なっている」という意味です。
- 解答: used to

(3) John had been in the hospital up until yesterday. He (can't have) played tennis in the park last Saturday.

- 解説: can't have + 過去分詞 で「～だったはずがない」という過去の事柄に対する強い否定の推量を表します。「ジョンは昨日まで入院していた。彼が先週の土曜日に公園でテニスをしたはずがない」という意味です。
- 解答: can't have

(4) The yard is all wet. It (must have) rained last night.

- 解説: must have + 過去分詞 で「～だったにちがいない」という過去の事柄に対する強い肯定の推量を表します。「庭がびしょ濡れだ。昨夜雨が降ったにちがいない」という意味です。
- 解答: must have

(5) You (may well) believe what he said. He never lies.

- 解説: may well + 動詞の原形 で「～するのももともとだ」「たぶん～だろう」という意味を表します。「彼が言ったことを信じるのももともとだ。彼は決して嘘をつかない」という意味です。

- 解答: may well

C-1 並べかえ

(1) 一人旅をするときは、どんなに気をつけても気をつけすぎることはない。You (alone / be / very / traveling / cannot / careful / when / too). 不要な語: very

- 解説: cannot ... too ~ で「どんなに～してもしすぎることはない」という構文です。
- 解答: You **cannot be too careful when traveling alone.**

(2) 私はあなたの判断が間違っていたと考えざるをえない。I (help / your decision / cannot / was / that / think / thinking / wrong). 不要な語: think

- 解説: cannot help -ing で「～せずにはいられない」「～せざるをえない」という構文です。thinking の目的語として that 節が続きます。
- 解答: I **cannot help thinking that your decision was wrong.**

(3) 私は混雑した遊園地に行くくらいなら、家にいる方がましだ。I (as / as / better / go / home / might / stay / to / well) the crowded amusement park. 不要な語: better

- 解説: may [might] as well + 動詞の原形A + as + 動詞の原形B で「BするくらいならAする方がましだ」という構文です。
- 解答: I **might as well stay home as go to the crowded amusement park.**

C-2 英訳 (解答例)

(1) あなたはすぐに泳げるようになるでしょう。

- 解説: 「～できるようになる」は be able to + 動詞の原形 を使います。未来のことなので will be able to swim とします。
- 解答例: You will be able to swim soon.

(2) 彼女はボビー (Bobby) のお姉さんにちがいない。

- 解説: 「～にちがいない」という現在の事柄に対する強い肯定の推量は must + 動詞の原形 で表します。
- 解答例: She must be Bobby's sister.

以上で、「Clues」および「AXEL」のすべての問題の解説を終了します。